

## 1. 学会発表

1. 鈴木梢子, 武田文, 大藏倫博, 朴峠周子, 浅沼徹, 門間貴史, 藤原愛子, 鈴木淳子: 地域高齢者における主観的健康感とソーシャル・キャピタル, 社会活動との関連. 第70回日本公衆衛生学会総会, 秋田, 2011. 10.
2. Okuno J, Tomura S, Fukasaku T, Yabushita N, Kim MJ, Okura T, Tanaka K, Yanagi H: Is vitamin D level for muscle strength improvement higher than that for mobility improvement for Japanese pre-frail elderly attending a nursing care prevention class? : Examination of alfacalcidol supplementation and renal function. ASBMR 2011 annual Meeting, USA, 2011. 9.
3. Kitano N, Tsunoda K, Tsuji T, Mitsuishi Y, Yoon JY, Yoon JE, Okura T: Association of leisure-time, household and work-related physical activity with sleep condition in older adults. The 6th World Congress of the World Sleep Federation, Japan, 2011. 10.
4. 大藏倫博: 手腕作業検査「ペグボード」を活用した高齢者の認知機能評価テストの開発. 日本体育学会第62回大会, 鹿児島, 2011. 9.
5. 大藏倫博: 認知症予防における身体運動の意義 (シンポジウム). 日本体育学会第62回大会, 鹿児島, 2011. 9.
6. 大藏倫博, 三ッ石泰大, 尹智映, 角田憲治, 辻大士, 尹之恩, 北濃成樹, 檜森えりか, 金泰浩: 高齢者の脳機能と心理社会機能の賦活を企図した新介護予防運動の継続効果. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 2011. 9.
7. 尹智映, 檜森えりか, 大藏倫博: ペグ移動テストを用いた高齢者の新たな認知機能評価尺度の神経科学的妥当性. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 2011. 9.
8. 角田憲治, 尹之恩, 北濃成樹, 檜森えりか, 金泰浩, 尹智映, 辻大士, 三ッ石泰大, 大藏倫博: 高齢者における身体活動の構成要素と身体パフォーマンスの関連. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 2011. 9.
9. 辻大士, 金泰浩, 北濃成樹, 角田憲治, 大藏倫博: 高齢者の良好な起居移動動作能力を保持するための, 素早い下肢筋力発揮能力の基準値. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 2011. 9.
10. 三ッ石泰大, 尹智映, 北濃成樹, 尹之恩, 大藏倫博: 継続的な運動ボランティア活動や運動実践が高齢者の認知機能, 社会交流状況, 抑うつ度に与える影響. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 2011. 9.
11. 北濃成樹, 角田憲治, 三ッ石泰大, 辻大士, 尹智映, 大藏倫博: 低頻度, 低強度運動介入が地域在住女性高齢者の睡眠におよぼす影響. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 2011. 9.
12. 尹之恩, 辻大士, 尹智映, 角田憲治, 黄圭泚, 大藏倫博: 高齢者の良好な起居移動動作能力を保持するために必要な身体活動量の検討. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 2011. 9.
13. 檜森えりか, 尹智映, 角田憲治, 辻大士, 三ッ石泰大, 北濃成樹, 尹之恩, 金泰浩, 大藏倫博: 高齢者の身体パフォーマンスを用いた認知機能評価テスト (Trail Making Test) の開発. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 2011. 9.
14. 金泰浩, 北濃成樹, 角田憲治, 三ッ石泰大, 辻大士, 尹智映, 尹之恩, 檜森えりか, 大藏倫博: 地域在住高齢者における疼痛と身体能力, 身体活動量との関係. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 2011. 9.
15. Shigematsu R, Okura T, Nakagaichi M: Effects of cognitive-related exercise training on mobility in elderly persons. International Conference on Emerging Issues in Safe and Sustainable Mobility for Older Persons, USA, 2011. 8-9.
16. 真田育依, 村木敏明, 堀田和司, 尹之恩, 尹智映, 角田憲治, 辻大士, 三ッ石泰大, 大藏倫博: 認知症・転倒予防教室における地域在住特定・一般高齢者の抑うつと自己効力感の検討. 第12回日本認知症ケア学会大会, 神奈川, 2011. 9.
17. Shigematsu R, Nakata Y, Okura T, Nakagaichi M, Tanaka K: Effects of Fortnightly Behavior & Exercise Intervention on Adherence, Fitness and Quality of Life. The Gerontological Society of America's 64th Annual Scientific Meeting, USA, 2011. 9.
18. Shigematsu R, Okura T, Nakagaichi M, Nakata Y: Long-term Square-Stepping Exercise and its effects on functional fitness in community-dwelling elderly persons. The 16<sup>th</sup> annual congress of the European Collge of Sport Science, UK, 2011. 9.
19. 田中喜代次, 蘇りな, 辻大士, 大藏倫博: アクセラレーショントレーニングによる全身振動刺激が肥満者および高齢者の健康体力に及ぼす効果. 第76回日本温泉気候物理医学会総会・学術集会, 鹿児島, 2011. 5.
20. 堀田和司, 村木敏明, 真田育依, 角田憲治, 大藏倫博: 転倒・認知症予防教室における健康講話と参加者の健

- 康関連習慣に関する検討. 第44回日本作業療法学会, 宮城, 2011. 6.
21. 村木敏明, 真田育依, 堀田和司, 尹智暎, 大藏倫博: Square-Stepping Exercise を用いた介護予防教室に参加した地域在住一般高齢者と特定高齢者の自己効力感と抑うつに関する検討. 第44回日本作業療法学会, 宮城, 2011. 6.
  22. Okura T, Mitsuishi Y, Yoon JY, Tsunoda K, Tsuji T, Tanaka K: Effects of a fall and dementia program on cognitive and physical function in older adults. The 58th annual meeting of American College of Sports Medicine, USA, 2011. 5-6.
  23. Seino S, Yabushita N, Kim MJ, Matsuo T, Nemoto M, Okura T, Tanaka K: Is upper extremity performance associated with frailty in community-dwelling older women? The 58th annual meeting of American College of Sports Medicine, USA, 2011. 5-6.
  24. Yoon JY, Okura T, Yoon JE, Kim TH, Kitano N, Seino S, Tanaka K: A physical performance battery assessing cognitive function in community-dwelling older Japanese adults. The 58th annual meeting of American College of Sports Medicine, USA, 2011. 5-6.
  25. Tsuji T, Okura T, Tsunoda K, Mitsuishi Y, Kitano N, Tanaka K: Ground reaction force in sit-to-stand reflects lower-extremity function better than timed test in older adults. The 58th annual meeting of American College of Sports Medicine, USA, 2011. 5-6.
  26. Tsunoda K, Okura T, Tsuji T, Mitsuishi Y, Yoon J, Tanaka K: Relationships of leisure-time, household, and occupational physical activity with physical function in older Japanese adults. The 58th annual meeting of American College of Sports Medicine, USA, 2011. 5-6.
  27. 大藏倫博, 三ッ石泰大, 鈴木梢子, 尹智暎, 角田憲治, 辻大士, 武田文, 田中喜代次: 新介護予防運動の継続実践および普及が高齢者の生活機能に与える影響. Session 3 身心統合スポーツ科学研究の可能性. 第1回 BAMIS 国際フォーラム, 茨城, 2011. 3.
  28. 三ッ石泰大, 辻大士, 大藏倫博: 継続的な運動やボランティア活動が体力に与える影響. 第10回日本体育測定評価学会, 金沢, 2011. 2.
  29. 辻大士, 三ッ石泰大, 大藏倫博: 縦断調査による地域在住高齢者を対象とした椅子立ち上がり動作時の地面反力の有用性. 第10回日本体育測定評価学会, 金沢, 2011. 2.
  30. 角田憲治, 大藏倫博: 高齢者の歩行量, 余暇活動量と近隣環境との関連性. 第12回日本健康支援学会年次学術集会, 福岡, 2011. 2.

## 2. 学術論文 (原著論文, 総説, 研究資料, 実践研究等)

1. 奥野純子, 戸村成男, 深作貴子, 金美芝, 大藏倫博, 田中喜代次, 柳久子: 介護予防教室参加特定高齢者の体力改善とビタミンD ービタミンD補充, 腎機能より検討. 日本老年医学会雑誌, 48: 691-698, 2011.
2. 角田憲治, 三ッ石泰大, 辻大士, 尹智暎, 村木敏明, 堀田和司, 大藏倫博: 地域在住高齢者の身体活動量は外出形態, 抑うつ度, ソーシャルネットワークと関連するかー余暇活動, 家庭内活動, 仕事関連活動に基づく検討ー. 日本老年医学会雑誌, 48: 516-523, 2011.
3. 辻大士, 三ッ石泰大, 角田憲治, 尹智暎, 北濃成樹, 尹之恩, 大藏倫博: 地域在住高齢者を対象とした椅子立ち上がり動作時の地面反力と身体機能, 転倒経験, 転倒不安, 起居移動動作能力との関連性. 体力科学, 60: 387-399, 2011.
4. 深作貴子, 奥野純子, 戸村成男, 清野諭, 金美芝, 藪下典子, 大藏倫博, 田中喜代次, 柳久子: 特定高齢者に対する運動及び栄養指導の包括的支援による介護予防効果の検証. 日本公衆衛生雑誌, 58: 420-431, 2011.
5. 清野諭, 藪下典子, 松尾知明, 鄭松伊, 根本みゆき, 大須賀洋祐, 大久保善郎, 大藏倫博, 田中喜代次, 金美芝: 地域在住高齢者の握力による移動能力制限の識別. 体力科学, 60: 259-268, 2011.
6. 大藏倫博, 辻大士, 角田憲治: 地域在住高齢者の総合的生活機能評価尺度 (質問紙) 作成の試み. 筑波大学体育科学系紀要, 34: 197-202, 2011.
7. 辻大士, 大藏倫博, 田中喜代次: 中年・高齢期女性の椅子立ち上がり動作時の地面反力と年齢との関連. 日本運動生理学雑誌, 18: 2129, 2011.
8. 角田憲治, 尹智暎, 辻大士, 鴻田良枝, 相原育依, 村木敏明, 三ッ石泰大, 大藏倫博: 体力水準の異なる高

齢者に対する、短期間、低頻度の運動介入の効果—Square-Stepping Exercise を中心とした運動介入—。厚生  
の指標, 58 : 6-13, 2011.

9. 重松良祐, 中西礼, 齋藤真紀, 大藏倫博, 中垣内真樹, 中田由夫, 坂井智明, 中村容一, 栗本真弓, 田中喜  
代次: スクエアステップを取り入れた運動教室に参加した高齢者がその後も自主的に運動を継続している理  
由。日本公衆衛生雑誌, 58 : 22-29, 2011.

### 3. その他論文 (報告書等) : 学術論文と同様に入力する。

1. 大藏倫博, 尹智暎, 檜森えりか, 小澤多賀子: 地域在住高齢者の認知症予防を目的とした脳機能賦活プログ  
ラムの開発。平成 22 年度日本体育協会スポーツ医・科学研究報告書「高齢者の元気長寿支援プログラム開  
発に関する研究 一第 2 報一」, 35-46, 2011.
2. 辻大士, 金泰浩, 大藏倫博: 立ち上がり動作時の地面反力変数による下肢筋機能評価尺度の開発。平成 22 年  
度日本体育協会スポーツ医・科学研究報告書「高齢者の元気長寿支援プログラム開発に関する研究 一第 2  
報一」, 47-52, 2011.
3. 角田憲治, 北濃成樹, 尹之恩, 真田育依, 堀田和司, 村木敏明, 大藏倫博: 高齢者の身体活動量, 身体機能  
との関連からみた身体的虚弱化リスク評価尺度の開発—乗物を利用した外出頻度によるスクリーニングの  
重要性—。平成 22 年度日本体育協会スポーツ医・科学研究報告書「高齢者の元気長寿支援プログラム開発  
に関する研究 一第 2 報一」, 53-60, 2011.
4. 三ッ石泰大, 井上実咲, 大藏倫博: 介護予防を目的として高齢者の運動の継続化を見据えた運動サロンの設  
置と普及の試み ~現状と課題の把握~。平成 22 年度日本体育協会スポーツ医・科学研究報告書「高齢者  
の元気長寿支援プログラム開発に関する研究 一第 2 報一」, 61-67, 2011.

### 4. 著書 (事典, 翻訳書等を含む)

1. 監訳: 戸澤明子, 浅野勝己, 訳: 田中喜代次, 大藏倫博: アクセラレーショントレーニングハンドブック 一  
科学, 原理, 効果—有限会社ナップ, 2011.
2. 田中喜代次, 藤田聡, 大藏倫博: 地域在住高齢者におけるサルコペニアの予防—レジスタンストレーニング  
による介入—。サルコペニアの基礎と臨床。真興交易(株)医書出版部, 171-177, 2011.
3. 田中喜代次, 大藏倫博, 小澤多賀子, 藪下典子, 根本みゆき, 別宮圭一, 藤澤卓, 伊藤純哉 (プログラム共  
同開発者)。株式会社日本能率協会コンサルティング (編集・校正) リハビリ専門デイケア事業リハビリテ  
ーションプログラムマニュアル, 2011.

### 5. その他 (一般向け執筆, 作品, 番組出演等)

なし